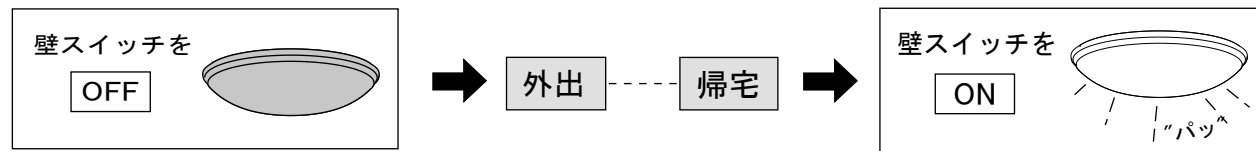


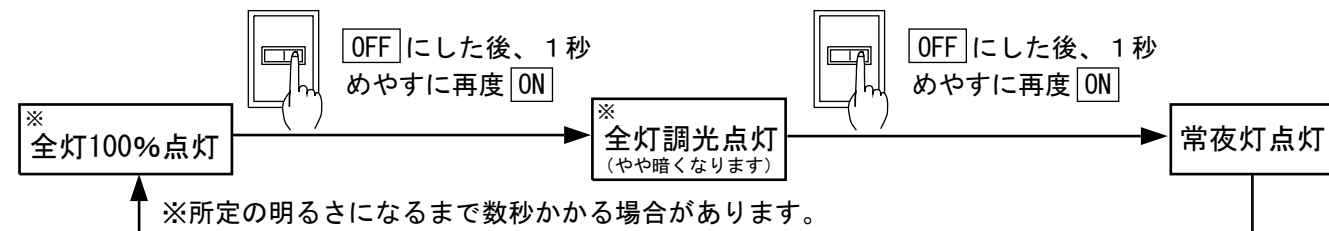
壁スイッチによる操作方法 壁スイッチでも次のような点滅操作ができます。

- 壁スイッチを **OFF** にした後、再度壁スイッチを **ON** にしますと、消灯前の点灯モードになります。

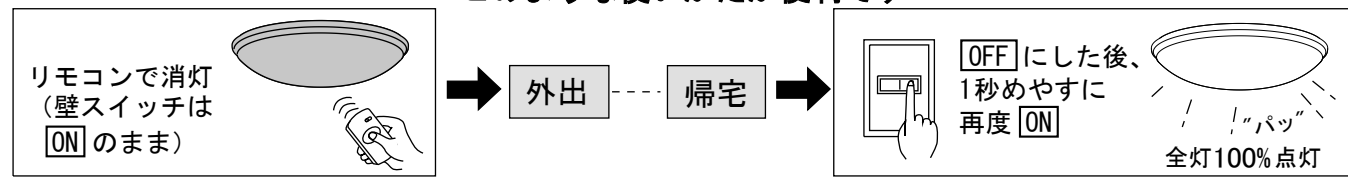


- 壁スイッチを操作することで次の点灯モードに切り替えることができます。

* 壁スイッチの操作はゆっくり「1秒めやす」でおこなってください。



このような使いかたが便利です



—ご注意—

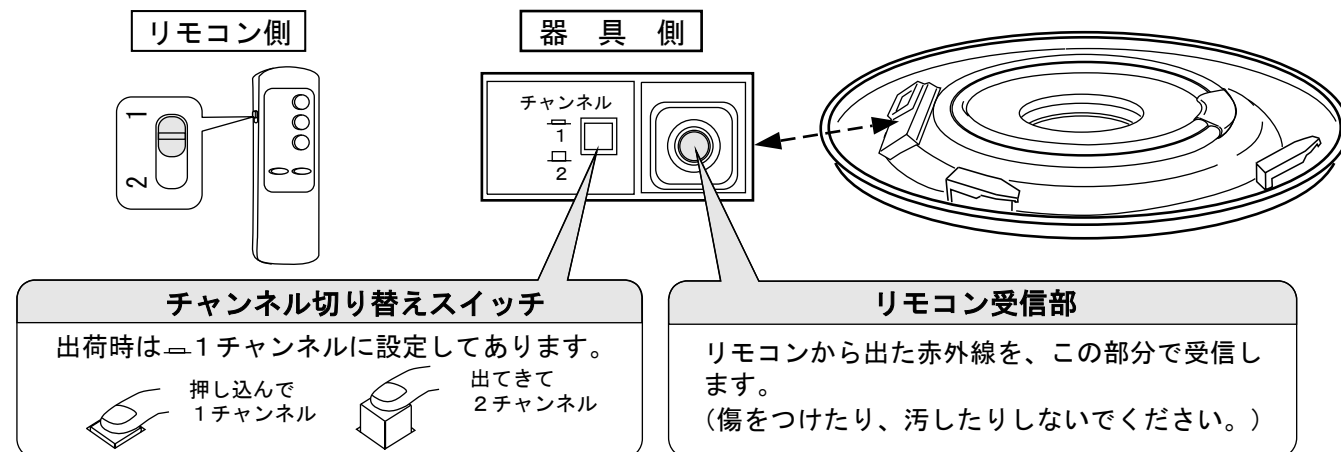
壁スイッチの **OFF** - **ON** の切り替え時間を検知し、次の点灯モードへ進める方式を採用しております。検知する切り替え時間は、0.5秒～2秒としておりますが、壁スイッチ操作の際は約1秒をめやすとして操作してください。0.5秒以下や2秒以上の場合は検知しないので点灯モードの切り替えはできません。このような場合は、約1秒間隔で **OFF** → **ON** 操作をもう一度おこなってください。

チャンネル切り替えスイッチの設定について

- お部屋で使用される台数に応じ、次のようにチャンネルを設定してください。

室内のリモコン照明器具が1台の場合

製品出荷時は、1チャンネルに設定してありますが、確認のうえ、器具側及びリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを1チャンネルに合わせてください。



室内のリモコン照明器具が2台の場合

器具側とリモコン側のチャンネル切り替えスイッチを右図のように設定することにより、個別操作や同時操作ができます。また、リモコンは、他の日立リモコン照明器具と一部互換性があるため、一緒に使用する場合はチャンネル切り替えスイッチを右図同様に設定してください。

	個 別 操 作		同 時 操 作	
	1 台 目	2 台 目	1 台 目	2 台 目
器具側	1	2	1	1
リモコン側	2 1	2 1	2 1	2 1

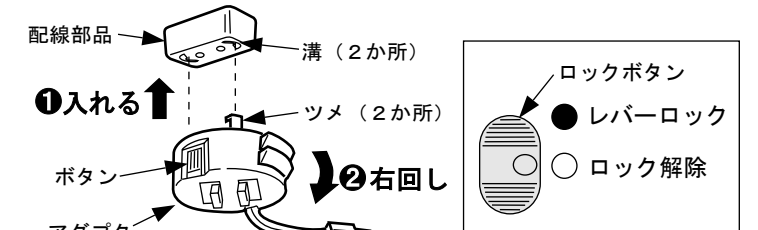
2. アダプタの取り付け 電源を切ってください。(壁スイッチを **OFF** にしてください。)

- ① 配線部品 (引掛シーリングボディなど) の溝にアダプタのツメを入れ、右方向にいっぱいまで回してください。(ロックが掛かり固定されます。)

- ② ロックボタンが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。



取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、はずれないことを確認する。
* 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



アダプタのはずしかた
ボタンを押しながら左方向へ回してください。

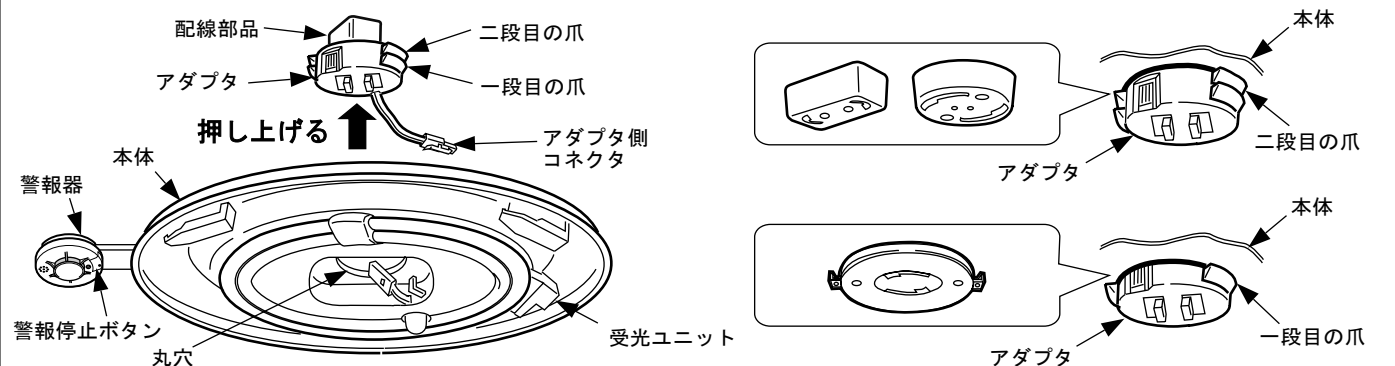
3. 本体の取り付け

- ① 警報器の向きを決めてアダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて本体を天井に強く押し上げてください。

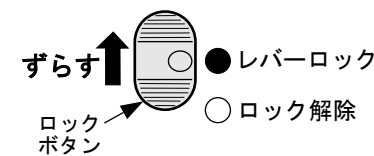
※ 警報器の取付方向が特に無い場合は、リモコンをひんぱんに操作する方向に受光ユニットが向くように本体を合わせることをおすすめします。(ご注意: 警報器の向きは2ページの内容をご確認のうえ決めてください。)



天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので必ず下図を参照し、適切な爪 (両側2ヶ所) が本体に掛かっていることを確認する。
必ず守る * 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



- ② アダプタのロックボタンを「レバーロック」の位置にしてください。

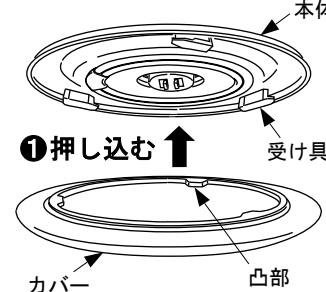


- ③ アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を配線押さえに引っ掛けてください。

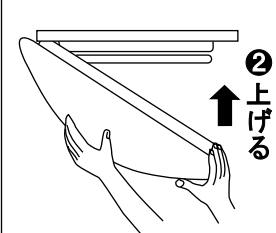


4. カバーの取り付け

- ① カバー凸部を本体の受け具と受け具の間に合わせて、押し込んでください。



- ② 反対側を押し上げてください。



- ③ 中央をささえながら右に回してください。



カバーを正しく取り付け後は、カバーをむりやり回さない。
* 器具の破損、落下によるけがの原因となります。



取り付け後、カバーを軽く下にひっぱり確実に取り付けられているか確認する。
必ず守る * 取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

- 器具の取り付けが完了したら壁スイッチを **ON** にして、6ページの6. 定期点検のしかた (警報機能の確認) を参照して、警報器の確認をしてください。